

第28回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

○日時：平成27年9月18日15時20分～16時50分

○場所：京都府立大学 稲盛記念館106室

○講師：川端 猛夫先生（京都大学化学研究所教授）

○演題：「有機触媒を用いる位置選択的分子変換」

○参加者：学部学生、大学院生、教員

○参加者総数：約50名

第28回鴨叡会・生命分子化学科セミナーを開催した。本セミナーは前日から開催されていた、福井大学・京都工芸繊維大学・京都府大の有機化学系三研究室合同セミナーの最後のプログラムも兼ねており、同セミナーとの共催の形で行われた。生命分子化学科の三回生を含む多くの学生のほか、上記三大学の学生、院生、教員さらには、京都府立医科大学の学生、教員の参加もあり、大変盛況であった。

内容は、不斉記憶型反応の発見から展開・応用、川端触媒のコンセプトと応用などであった。化学にあまりなじみの無い参加者にも配慮していただき、わかりやすく、何がこれまでの化学と異なっているのか、現在の化学において何が未発達で、それがどう解決できるようになったのかなど、大変刺激的な講演であった。鋭い直感と、深い洞察に基づいた研究コンセプトと研究展開の手法に感銘を受けた。会場からは学部学生をはじめ、院生、教員からも活発な質問がなされ、理解を深める事ができた。

